

さいたま市総合振興計画審議会 総会（第４回） 会議録

日時	令和元年１１月７日（木） 午前９時００分～１０時３０分
場所	プリムローズ有朋 カトレア
出席者 （敬称略）	〔委員〕計３６名 秋元智子／秋元秀夫／石川憲次／磯田俊輔／内田幸枝／大久保秀子／小野安史／柏木恵／川鍋栄／河野公輝／桐淵博／久保田尚／斎藤友之／斎藤英一／作山康／島田正次／鈴木甫／鈴木真由美／高橋行憲／田中岑夫／塚崎裕子／鶴見清一／鳥海修一／中島マリ子／中野勇／長野基／林承弘／藤枝陽子／松本敏雄／三次宣夫／宮本恭嗣／村山和弘／茂木武久／本澤繁／山崎秀雄／横道清孝 〔事務局〕さいたま市 都市戦略本部長 真々田和男 総合政策監 岡田暁人 都市経営戦略部：篠葉参与／田中副参事／前主幹／新井主査／松本主査／大塚主任／玉置技師／篠田主事 〔傍聴者〕０名
欠席者	〔委員〕計１２名 内田奈芳美／岡本祐輝／合谷竜一／佐藤徹／豊島登／永沢映／子吉亮／平林紀子／松山麻衣／矢部憲春／山田亜紀／渡邊峻也
議題	１ 開会 ２ 定足数の報告 ３ 議題 （１）次期総合振興計画（案）について （２）その他 ４ 閉会
公開又は 非公開の別	公開
配付資料	・さいたま市総合振興計画審議会 第４回総会 次第 ・さいたま市総合振興計画審議会 第４回総会 席次表 ・さいたま市総合振興計画審議会 委員名簿 ・資料１：次期総合振興計画審議会総会等からの意見について ・資料２：さいたま市次期総合振興計画（案）
問い合わせ先	都市戦略本部 都市経営戦略部 電話 048-829-1035

1 開会

2 定足数の報告

○司会 さいたま市総合振興計画審議会運営要綱第5条第2項により、審議会の定足数は過半数と定められておりますが、本日の出席委員は、委員総数48名に対し36名となっており、定足数を満たしていることから、本日の審議会が成立していることをご報告いたします。

○司会 それでは、次に配布資料の確認をさせていただきます。
(配布資料の確認)

○司会 なお、現在のところ、傍聴希望者はいらっしゃいません。また、本会議につきましては、会議録を作成するための録音、記録のための写真撮影を行わせていただきます。会議録につきましては、各委員にご確認いただいた後、会長の承認をもって確定いたします。公開となる会議の会議録は、各区情報公開コーナーと市のホームページで公表する予定となっておりますので、あらかじめご承知ください。それでは、以降、会長に議事進行をお願いいたします。

○会長 皆様には、ご多用のところ短い期間で各部会においてご審議いただき、大変お疲れ様でした。各部会とも活発なご議論のもと、今回次期総合振興計画（案）をお示しする運びとなりました。

それでは、議事進行を務めさせていただきます。はじめに、会議の公開と傍聴の許可について諮りたいと思います。本日の会議を公開とし、傍聴を許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○会長 ご異議がないようですので、本日の会議は公開としたいと思います。

3 議題

(1) 次期総合振興計画（案）について

○会長 それでは、議題に入らせていただきます。議題1「次期総合振興計画（案）について」、事務局から説明していただきたいと思いますが、それでは、説明をお願いいた

します。

○事務局 （資料 1、2 に基づき、「次期総合振興計画（案）について」事務局より説明）

○会長 ただいまの説明につきまして、ご意見やご質問等はございますか。

○松本委員 先般の台風第 19 号について記載が追加されておりますが、この点で意見がございます。さいたま市の防災訓練は、ほとんどが地震を想定しています。台風や水害を想定したものではございません。台風第 19 号の際には、避難所の開設をして、学校管理者や地域の自治会を中心として運営をしておりました。今回の災害で浮き彫りになった防災公共無線が聞こえない点や、避難所の運営、避難所の位置に関して課題がありました。防災訓練や市民への周知の方法について抜本的に見直してほしいと思います。現状の記述では、「災害」で包含してしまっているのも、水害や台風に関して特記した内容が少ないように見受けられます。

○会長 災害についてのご意見は全くその通りだと思います。34 頁の台風第 19 号について「近年多発している局地的な豪雨、今後切迫する首都直下地震などの大規模災害による大きな被害の懸念は高まっており、ハード・ソフトの両面からより一層総合的かつ計画的に災害に強いまちづくりを推進することが求められています。」と記載されております。このような記載の上で、具体的な計画が推進されていくと理解しておりますが、事務局いかがでしょうか。

○事務局 資料 1 「総合振興計画審議会等からの意見について」の 116 頁に、台風の災害について記載させていただきました。具体的な取組について実施計画で記載させていただく予定でございます。

○松本委員 台風第 19 号や台風第 15 号の状況を見ると、台風が勢力を強めている状況だと考えられます。今後、さいたま市を通過することが考えられますので、台風について基本方針の中にしっかりと明記する必要があると思います。

○会長 計画案の修正をお願いします。資料 2 の 34 頁、「局地的な豪雨」のところに、「台風」も追加してほしいと思います。台風についての認識は全く同じだと思います。

○秋元智子委員 災害に関連して、ヒートアイランド現象に伴う熱中症も記載してほしいと思います。現行計画には、ヒートアイランド現象が重点施策の一部として記載され

ていました。都市型災害の中で、特に熱中症は、さいたま市の課題だと思うので記載してほしいと思います。

○藤枝委員 浦和区では、避難所として学校は開設されましたが、公民館は避難所として開設されませんでした。遠方からの避難者に対する避難所の運営方針や、車の車中泊に関する詳細な避難所運営について、考えていただければと思います。

○会長 災害に関連したご意見でした。事務局いかがでしょうか。

○事務局 資料1の110頁、第10章「防災・消防」の現状と課題に、「近年の異常気象」という言葉がございますので、ヒートアイランド現象についても包含していると考えております。熱中症は、「救急を始めとする消防需要の増加」に含まれていると考えていただければと思います。具体的な救急の内容については、具体的な事業の中で対応していきたいと思います。また、災害における避難体制等は具体的な計画になるので、繰り返しの回答となりますが、実施計画で記載したいと思います。

○秋元智子委員 大変残念なお返事だと思います。個人的な意見ですが、埼玉県内での高温化現象とヒートアイランド現象は、全国一だと思っています。その意味で対応は必須だと考えており、現行計画にも記載されておりますので、書きぶりを検討していただければと思います。

○会長 異常気象の中には、ヒートアイランド現象等の意味も包含されております。総会の中でのご意見についてはしっかりと記録したいと思います。

○川鍋委員 防災に関することですが、近年の気象状況を考えると、今回のような災害が今後広範囲になっていく可能性が考えられます。さいたま市は避難場所として、地理的に利用しやすいところにあります。他県や他市から避難者が来ることが想定されるので、避難場所の場所や規模など、もう少し広く考えてほしいと思います。

○会長 貴重なご意見ありがとうございます。ご意見はしっかりと記録させていただきたいと思います。

○柏木委員 資料1の32頁、「さいたま市の課題」で、「社会保障関連経費等の増大や公共施設の老朽化の進行などにより、本市の財政運営は今後厳しくなっていくことが予想されます。」と記載があります。25頁に「耐震化はおおむね完了していますが、今後は施設・整備の老朽化の進行などの問題から、大規模改修や建替え等を必要とす

る施設が急増し、財政を大きく圧迫することが予測されます。」と記載があります。一方、165 頁「健全財政の維持」でも、「本市の公共施設の多くは、老朽化が進行しており」と記載があります。現状の記載だと、読者が不安になると思われます。公共施設マネジメント計画など、市が行っている取組について、165 頁、109 頁、112 頁に記述してもよいと思います。市の取組について、もう少しアピールしてもよろしいのではないのでしょうか。

また、社会保障関連経費の増大については、32 頁に記載があるので、23 頁の「財政状況」の中にグラフや文章を追加してほしいと思います。165 頁の社会保障関連経費の増大についても、公共施設の老朽化に伴う施設整備と併せて、さいたま市の考え方を加筆すると整合が図れると思います。

○事務局 公共施設マネジメント計画やさいたま市の取組、方向性について記載させていただきたいと思います。社会保障関連経費は、記述量のバランスが取れていない部分もあるので、整理させていただきたいと思います。

○桐淵委員 資料1の85頁「(3) 人生100年時代を輝き続ける力の育成」について、標題に対して、内容は環境整備のことが書かれています。中身にふさわしい標題にしてほしいと思います。

また、「(2) グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成」について、新しい時代の能力と徳育について分けて記載してほしいと思います。その上で、「人間ならではの感性」を意味が通じる書き方に、「自己存在感を与え」を「自己肯定感を育み」等の文言に変えてほしいと思います。現状だといじめられる側が悪いようにも読み取れます。

○事務局 所管と検討させていただきたいと思います。

○林委員 現在の防災計画は、地震を想定して書かれていますので、医師会の方でも見直しをしております。西区の「さいたま市民医療センター」が防災医療の拠点でありながら、水害に弱いと考えられています。水害の影響を受ける可能性がある防災拠点について、さいたま市はどのように考えているのでしょうか。

○事務局 水害への対応は必要だと考えておりますので、防災拠点等については今後の具体的な事業の中で考えていかなければいけないと考えております。具体的な対策について実施計画で検討をしたいと思います。

○宮本委員 資料1について、4つ意見がございます。まず、成果指標に「参考」と記載されておりますが、今後、記載変更の可能性はございますか。2つ目は、健康・スポーツに関して、健康に関わる多面的な側面が大切だと思います。日本の住宅は温熱環境の水準が海外に比べて低いので、ヒートショックや熱中症などの問題があります。住環境と健康についても記載してほしいと思います。3つ目は、クリエイティブ産業について、現状記載のもの以外にデザイン分野も含まれると思います。もう少し幅広く捉えてほしいです。4つ目は、都市農業の振興について、まずは営農できるようになることが大切だと思います。農業で稼いでいかなければなりませんので、営農についても記載して欲しいと思います。

○事務局 資料2の成果指標に関して現状記載のある項目は今後変更しない予定でございます。健康・スポーツの関係に関しては、あくまでも身体を動かすことを基本にしております。住環境については、分野別計画で記載させていただいております。熱中症等の対策も含めて住環境の整備が必要だと考えておりますので、具体的な内容は、今後の取組内容については検討していかなければならないと考えております。産業育成については幅広く捉えていく必要がありますので、今後の取組で検討させていただきます。都市農業の記載に関して、営農やヨーロッパ野菜等の付加価値がある農業について包含した記載がされていると考えております。

○鈴木甫委員 資料2の117頁「観光振興とMICEの推進」で意見を申し上げます。見沼代用水が世界かんがい施設遺産に登録されました。見沼田圃は都市の観光の面から捉えた場合、区別の計画だけではなく、さいたま市全体としての方針が必要だと思います。世界かんがい施設遺産に登録されたことを考えると、都市の観光と絡めて記載をした方がよいと思います。

○事務局 見沼田圃の重要性については、計画の将来都市像や重点戦略にも込められています。57頁の重点戦略「首都圏有数の自然環境の活用」で、見沼田圃の方針や方向性を記載しており、見沼田圃は重要な資源として捉えています。市民の方々からの意見も踏まえて、情報発信や魅力の発信を通して、見沼田圃の観光につなげていきたいと考えております。遺産としての価値は、今回の記載で含んでいると考えております。

○会長 それでは、本日のご意見を踏まえた修正につきましては、私と職務代理・事務局にお任せいただきたいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、そのように進めさせていただくことを前提に答申案を承認することによってよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは本日いただいたご意見を踏まえて、進みたいと思います。

また、答申に当たっては、計画案に答申書の鑑を1枚添えて出すことが通例となっています。私としては、「審議会では、様々な観点から審議を尽くしたこと」、「審議会の審議や、パブリックコメントなどの市民意見を今後の参考としていただきたいこと」、また、市においても無作為抽出でワークショップの参加者を募るなど、工夫を凝らしながら地道に市民意見を集めてきたことは、評価したいと思いますので、そういったことを書き込みたいと考えております。

このことについては、私に御一任いただければと思います。また、本日の事務局の説明の中にもありましたが、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との整合の問題や、計画を着実に進めていくための具体的な進行管理の方法、このようなことについては、今後の課題として市に申し送りたいと考えておりますが、皆様よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、答申いたしましたら、計画案とともに、委員の皆さんには写しを送付していただくよう、事務局をお願いします。

(2) その他

○事務局 本日の総会以降のスケジュールについて簡単にご説明させていただきます。
(答申、冊子の策定・配布までの流れを事務局から説明)

○会長 以上をもちまして、本日の議事を終了させていただきたいと思います。最後に私から一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

第1回総会は、1月31日に開催され、総会は本日で4回目となります。この10か月

間、各部会を含めると延べ 18 回にわたり、皆様のご協力をいただきながら総合振興計画案の策定に携わって参りました。皆様方のご協力に深く感謝したいと思います。

特に、この審議会においては、各部会が大変重要になりました。夏の暑い中、各部会にお集まりいただいて積極的にご議論・ご意見いただいたことに感謝申し上げたいと思います。それから、この計画案を作成するに当たり 100 人程度の市民ワークショップ、市長も参加した 10 区のタウンミーティングを開催し、あまり例の無い積極的な市民参加の試みが行われました。その中で、色々な意見を頂き、計画にもできるだけご意見を反映させていただきましたが、残念ながら盛り込めなかったご意見もあります。これについては今後の市政運営の参考にさせていただきたいということも答申の際に市長に申し上げたいと思います。

改めて、総合振興計画案の策定に当たりまして、皆様方にご協力いただき、このような立派な計画案ができたことを会長として大変ありがたく思っております。改めて感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

○都市戦略本部長 都市戦略本部長の真々田でございます。私からも一言御礼を申し上げます。本年 1 月に審議会を設置し、次期総合振興計画（案）の策定に当たっての諮問をさせていただいてから本日まで、委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、また非常にタイトなスケジュールにも関わらず、延べ 18 回にわたって活発な御審議をいただきまして、誠にありがとうございました。

今後は、審議会で行いました皆様からの御意見を十分に尊重しながら、本日まとめていただいた答申を基に、パブリックコメントなどの所要の手続きを経まして、議案として市議会に提出してまいりたいと考えております。

また、先ほど会長からお話をいただきましたように、本計画につきましては、近く示される予定の国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係性の整理や実施計画を含めた進行管理の在り方など、引き続き検討していかなければならない課題が残されておりますので、しっかりと対応してまいります。また、皆様からいただいた御意見を十分に参考とさせていただきながら、本計画が本市の中長期ビジョンとして実効性のあるものとなるよう、本市を挙げて取り組んでまいりたいと考えております。

最後になりますが、皆様におかれましては、引き続き本市の市政全般に御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。どうもありがとうございました。

4 閉会

○事務局 以上をもちまして「さいたま市総合振興計画審議会第 4 回総会を終了させていただきます。本日は、ありがとうございました。

以上